

# 六甲山唐櫃エリアにおける 地域資源としての植物



## 唐櫃の森の現状

六甲山北側の下唐櫃地区の森林について、林業施業などの財産としての利用はほとんどされていない

地域の所有者も高齢化が進み、独自で整備を行うことも困難になっている

地域住民や学校などもほとんど山に立ち入ることなく利用がない

民有林ではあるが、六甲山登山道があり、一部のエリアで登山者や近隣住民の日常散歩などの利用はある

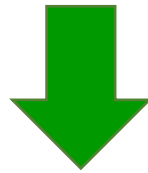
間伐の遅れなどもあり、大雨や台風被害で、作業道や登山道などの損壊なども見られる

## 唐櫃の森の魅力の発信

針葉樹の人工林と広葉樹林が混在し、多様な景観や生態が見られる

表六甲に比較すると、自然が豊富に残されており、魅力的な植物が点在する

都市部からのアクセスもよく、人気の温泉地にも近い。また、集落の農村景観も良好である



森林の魅力を地域の方々に再認識してもらうとともに、外部利用者へアピールすることで、森林の整備などに理解や参加の入り口にできないか？

# 魅力ある植物の発掘

下唐櫃を含む唐櫃エリアには、魅力的な植物が多くみられる。しかし、地元の人や所有者にもあまり知られていない。

- ① 観賞価値が高く、やや稀少な種類
- ② 魅力的な景観を作る
- ③ 地域の特徴的な種類
- ④ ランドマークとなる巨樹
- ⑤ 食用や装飾、祭事などに使用できる
- ⑥ 新しい森の資源の可能性

このような視点から地域の植物を2017年春から観察してきた。  
この中で、特に一般の方に発信力のあるものについて特筆したい

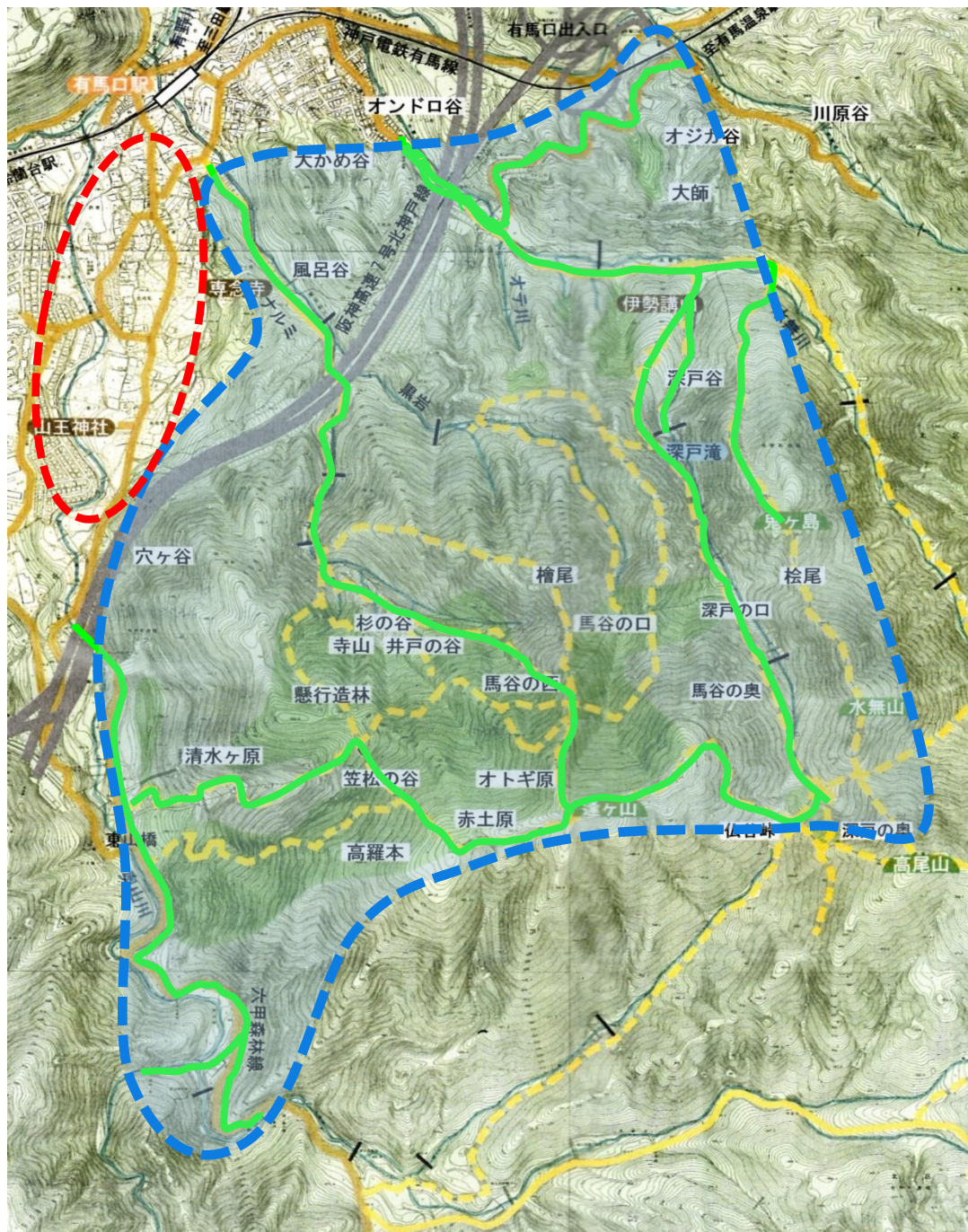
# 調査エリア

## 里のエリア

田畑の畔、社寺  
民地の植栽など  
について特筆なものを  
記録

## 山のエリア

緑色の作業路等につい  
て季節を変え踏査し、  
特筆なものを記録



# 注目する植物

## ① 観賞価値が高く、やや稀少な種類

### エビネ



調査エリアで2か所確認。1か所は杉林の林縁、1か所はコナラ主体の広葉樹林斜面地。両箇所とも1㎡未満の小群落で、過去1～2年に間伐を行っているため、環境の変化がどのように影響するか経過観察中。

エリア内に点在するが、群生は確認していない。実生苗はしばしばみられるが開花株は少なく、蕾で虫害にあっている個体が多い。

### ササユリ



## シュンラン



調査エリア内で多数確認。コナラ主体の広葉樹林斜面地に比較的多くみられるが、常緑樹が勝り、暗い場所では花付きが少ない。標高の低い里に近いところに多く見られる。場所によ、最近間伐の手入れを行った場所もあり、今後の花付き変化など経過観察中。

## ②魅力的な景観を作る種類

山の木々、里の田畑の風景そのものが魅力的ではあるが、特に季節的に美しい花が咲くものなどを選択した。

### コバノミツバツツジ



### タムシバ



サクラ類：山にはヤマザクラ、カスミザクラが点在する。

ツツジ類：コバノミツバツツジ、モチツツジ、シロバナ

ウンゼン、ヤマツツジが咲き変わり、開花

時期には登山者などの目を楽しませている。

タムシバ：サクラより一足早く開花し、個体数も多くよく目立つシンボルツリーの存在。

六甲山ではコブシよりタムシバが多い。

## アジサイ類 (Hydrangea)

このエリアには、アジサイの仲間が多くみられる。沿道に集落から700mくらいの山頂まで、コガクウツギ、コアジサイ、中間種のアマギコアジサイが見られる。

スギの人工林内には、ヤマアジサイの群生地が2～3か所あり、変異が多く、開花期には見ごたえがあり、園芸的に遺伝子資源となりうる可能性がある。2018年より、神戸市立森林植物園と調査を開始している

コガクウツギ



アマギコアジサイ



コアジサイ





# ヤマアジサイの自生地と変異



### ③地域の特徴的な種類

アリマウマノスズクサ



六甲山に多く見られる種で、ジャコウアゲハの食草のため、ジャコウアゲハがよくみられる  
ジャコウアゲハと幼虫



テイショウソウ



兵庫、神戸の準絶滅危惧種に指定されているが、この地域では標高の高いところでは群生地が見られる。葉の斑が美しい。

## ④ランドマークとなる巨樹



標高580mの鬼ヶ島の山頂部にあるアカガシの巨木

幹立ちで美しい樹形



ハイキング地図にも記載されている

風呂谷の沢沿いにあるモミの巨木。地元民にもあまり知られていなかった。太いつる(フジ)が巻き付いている。

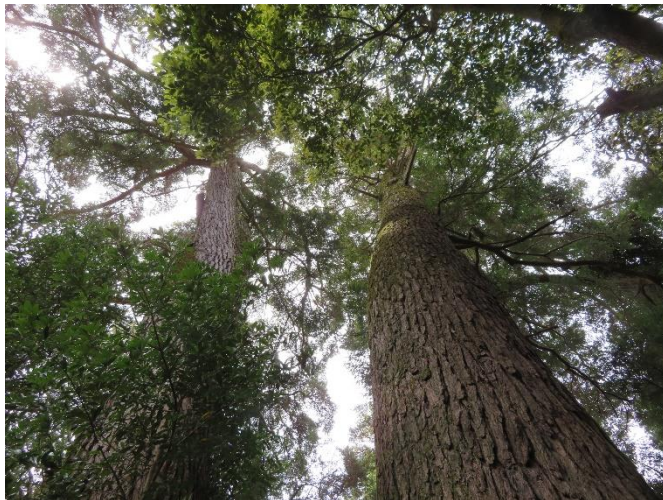


# 山王神社

集落にある神社で、村の人が毎年交代で宮司を務める。創建は不明だが、700～800年の歴史があるとのこと。境内はツガ、ツクバネガシの巨木が特徴的で、昭和60年に兵庫県の環境緑地保全地域に指定されている。近年の台風などで、倒木もあった。



幹周4.4m樹高約30mのツガ

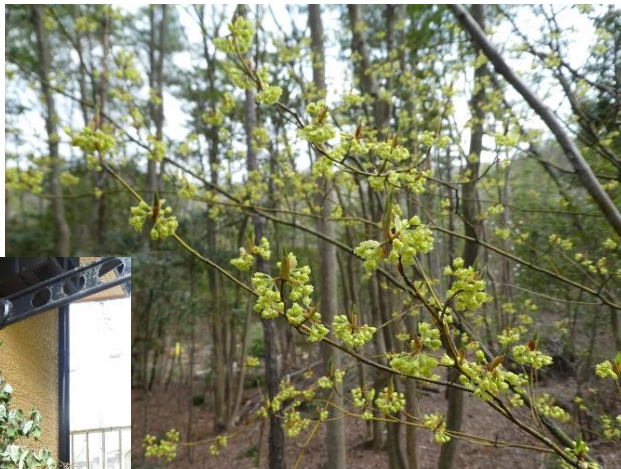


幹周2.4mのツクバネガシ



## ⑤食用や装飾、祭事などに利用できる

有馬の名物でもあるサンショウの自生が点在する。集落では植栽もされている(購入品か、地元産のものかは不明)。有馬にはサンショウの樹皮の佃煮も土産物として売られており、地元の方も自家製で作ることがある。



森にはクロモジが多く生育している。枝を高級楊枝に使うことはよく知られているが、乾燥した葉や小枝のお茶は上品でおいしい。

森に来た人々へのおもてなしに利用できる素材である。

早春の花も美しい

シキミやさカキは集落内、神社内などに植栽されており、神事や仏事に地元の方が利用している



山王神社の正月神事の中で、ウリカエデの枝を使用、またお供えの箸も同様に利用している。



一般参加者を募って行った間伐体験イベントでは、間伐したヒノキの葉や道端のノブドウ、チカラシバなどを使い、スワッグやリースなどの装飾品を作った。



## ⑥新しい森の資源の可能性

### コケの宝庫

近年、コケ玉やコケテラリウムなどのコケ園芸が流行している。栽培以外でも、コケツアーなど、山のコケが美しい景観を楽しむツアーも人気である。

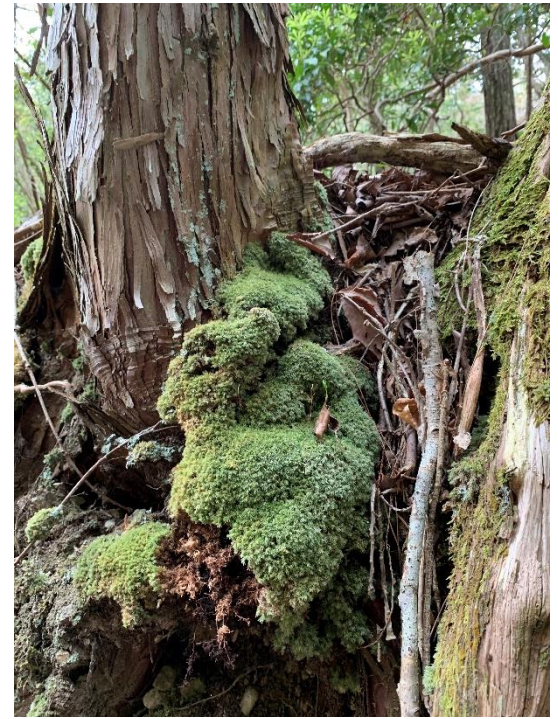
唐櫃の森は、多くの種類のコケが見られ、手軽に楽しめるツアー候補地として魅力的である。



また、コケは造園や園芸でも需要があるため、低迷している林業地で栽培事業に乗り出している所もあるが、設備投資などが必要である。

唐櫃のような現状では栽培事業は難しいが、生産者への種苔の提供の可能性はある。

種類と年間採集量を制限し出荷することは、森の資源を収入にする一手段にできるかもしれない



このほか、数年前に間伐した際に発生したアセビの枝物を、花アレンジの方が生け花ディスプレイに使われた事例もある。

生花業界、クラフト関係、アート関係などにも販売ルートがあれば材料提供の可能性はある。

年間採取量、種類などを管理できれば、森の恵みを有効活用できる可能性がある。



## 植物も含む環境

①～⑥のカテゴリで例を挙げたが、植物によっては複数のカテゴリに当てはまるものも多い

植物のみならず、昆虫、鳥類、爬虫類、両生類、ほ乳類などの生物全般についても、外部へのアピールできるものは数多く生息している

植物を含めた生物多様性について、教育的価値の高い森である。

地域資源としての植物

地域の人々にとって

財産

誇り



保護活動、教育活動への発展  
外部への広報手段

# 外部の人々にとって

体験欲求

- ・見たい
- ・写真撮りたい
- ・味見したい
- ・参加したい

保護願望

- ・守ってほしい
- ・保護活動したい

入手欲求

- ・写真撮りたい
- ・持ち帰りたい
- ・売ってほしい



保護活動、体験活動への参加

# 課題

## 地元の方々の理解と協力

地元学校、町内会などでの継続的な観察会、保護活動などの盛上がりと価値共有

## 外部への情報公開

公開の範囲、手順の検討（希少種の盗掘、無断入林、踏み荒らし、違法駐車などを防止する対策が必須）

## 観察ツアーのルート確立

点在する魅力ある種類、場所を季節によってどうつなげるか、効果的なガイドと間伐体験などどのようにつなげるか

## 地元への還元

森の収入源となるものの具体的検討、実現可能な提案

## おわりに

下唐櫃地区の森や里山は、六甲山の恵みを受け、とても美しい景観が残されており、私たちを包み込んでくれます。

この自然豊かな環境を子供たちにも引き継いでいくために、森の手入れをし、人為的に管理を継続する必要があります。

植物を通して森の環境を見守っていきたいと考えてます。